

都 第 127 号
平成 20 年 10 月 22 日

国土交通省道路局長 様

みどり市長 石 原
(都市計画課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、下記のとおり意見・提案を集約しましたので提出いたします。

記

意見・提案内容

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- ②-1 地方の現状と抱える課題
- ②-2 地域の目指すべき将来像
(別紙 意見・提案書のとおり)

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は我々が生活していく上で必要不可欠な社会資本であり、特に公共交通が発達していない地方部においては、移動手段として車を中心にならざるを得ない状況にあるため、道路整備は非常に重要な課題であります。

こういう状況のなかでの道路整備は、公共交通の発達した都市部と地方部を一律に考えるのではなく、地方の声に耳を傾け真に必要なとしている道路を選択して実施していく必要があると考えます。

②－Ⅰ 地方の現状と抱える課題

○ 現状 本市の道路網は国道 50 号、122 号、353 号の 3 路線、 県道 20 路線と、総延長 761km の市道で構成されています。 本市南部を東西に走る国道 50 号は、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が激しく市民生活にも大きな影響を及ぼし、市道では国道を迂回する通過車両による交通事故が多発しています。 また、国道 122 号、353 号と県道との交差点には右折レーンがなく、交通渋滞の原因となり安全対策上からも右折レーンの設置が望まれています。	○ 課題 国道 50 号については、都市計画決定され事業化されていますが、渋滞の解消は長年の懸案であり早期の供用をお願いしたい。 また、交通渋滞の解消のため、右折レーンの設置についても県と調整を図りながら計画的な実施をお願いしたい。 国道 122 号では、観光シーズンに通過車両による交通渋滞を招いています。北関東自動車道が平成 23 年度に全線開通の予定であり、利用頻度が多くなり交通渋滞も今以上に多くなると考えられます。インターチェンジまでのバイパス道路についても、県と調整を図りながら計画的な実施をお願いしたい。
---	---

②-2 地域の目指すべき将来像

「輝く人 輝くみどり 豊かな生活創造都市」と定め、人と緑が輝くふるさとで社会基盤整備、産業経済・観光の振興を図り、訪れる人々との交流が活発となる「豊かな生活創造都市」をつくる。

社会基盤整備（道路整備）として

1. 幹線道路の整備
2. 都市計画道路の見直し
3. 交通渋滞の緩和
4. 市道の整備
5. 安全な歩道の整備を進めていく。